

農業共済組合等資金事情調査システムの修正仕様

1. 業務名

農業災害補償関係業務における「農業共済組合等資金事情調査システム」の修正業務

2. 概要

本仕様書は、独立行政法人農林漁業信用基金（以下「信用基金」という。）の農業災害補償関係業務における「農業共済組合等資金事情調査システム」の修正について、必須の要求条件等について定めるものである。

3. 改修要件

「農業共済組合等資金事情調査システム」は、農業共済組合等の修正後残高試算表（財務データ）及び補足事項（その他補完データ）について集計・分析を行いその結果について帳票出力等を行うシステムである。

今般、農業共済組合等の会計処理根拠「農業共済団体の経理処理要領」が改定されたことから、「農業共済組合等資金事情調査システム」について所要の修正を行う。

本修正要件について、信用基金担当者と十分に仕様条件を確認した上で、自己の責任により改修を行うものとする。

(1) 修正対象となる団体区分

組合、特定組合

(2) 集計勘定科目の変更及び出力帳表様式の変更

貸借対照表（別添1-1）

損益計算書（事業勘定）（別添1-2）

損益計算書（業務勘定）（別添1-3）

補足事項（別添1-4）

財務分析諸比率（別添1-5）

レーダーチャート及び評点値グラフ（別添1-6）

（※）別添省略。

(3) 上記変更に伴うエラーチェックの変更

論理チェックにおける積み上げチェック箇所

(4) 財務分析諸比率の算式等の変更 (別添2)

① 算式の変更

事業資金保有比率①、事業資金保有比率②、当座比率①、当座比率②、
運用利回り、流動比率①、流動比率②

② 計算の廃止

基本財産積立比率 (組合、特定組合)

4. ソフトウェアの必要条件

(1) 「農業共済組合等資金事情調査システム」の設計及びソフトウェア、データベースについて十分な理解を有し、システム機能・データの整合性を保持すること。

(2) 「農業共済組合等資金事情調査システム」の設計及びソフトウェア、データベースについて、既存のシステムとの調整が必要な場合の手続き及び必要経費については、請負業者負担とすること。

5. 仕様要件 (設定環境等)

(1) サーバの設定環境

① OS

Windows 2008 R2 Standard

② インストールソフト

Oracle Database 11g R2

③ サーバー環境

ア オラクルデータベース (Oracle Database 11g R2)

イ アクセスデータベース (mdb)

ウ プログラム実行モジュール

エ 出力帳票ファイル (Excelファイル)

(2) クライアントの設定環境

① OS

Windows 7 Pro SP 1

② インストールソフト

Oracle Database 10g Client R2

Microsoft Office 2010

③ 出力アプリケーション

Microsoft Excel 2010

CrystalReports

6. 試験、立会い検査及び品質保証

(1) 一般事項

契約書に添付の仕様書で規定する修正要件について、試験及び検査を行うこと。

(2) 品質検査

現使用環境において、現行機能の保持を確認する品質検査を行うこと。

(3) 品質保証

納入後1年以内に生じた機能障害については、本仕様書に所定の要求項目を満足するように処置すること。

7. 納入

(1) 納入期限

平成25年3月22日（金）

(2) 納品物件

修正ソフトウェア一式は、信用基金運用稼動環境に組み込むとともにCD-ROMで納品すること。

- ① 本件システム修正に係る設計書及び操作説明書 一式
- ② 納品検査書 一式
- ③ 修正モジュール 一式

8. 納入場所

東京都千代田区内神田1丁目1番12号 コープビル11階
独立行政法人農林漁業信用基金 第二電算室

9. 必要な測定器、ソフトウェアの確保

本ソフトウェアの試験及び動作確認に必要な機器、ソフトウェア等は請負業者が用意すること。

(以上)